

## 公益目的支出計画等の概要

主たる事務所の所在地 及び法人の名称		岩手県盛岡市流通センター北1-8-10		
		一般社団法人計量計測技術センター		
移行日		平成23年6月1日(2011年6月1日)		
公益目的財産額		21,200,805		
実施事業等	継続事業 1	計量法に基づく特定計量器の定期検査及び検定等に関する事業		
	継続事業 2	普及啓発研修事業		
		実施事業全体	継続事業 1	継続事業 2
公益目的支出の見込額		28,924,000	27,943,000	981,000
実施事業収入の見込額		27,631,000	27,231,000	400,000
実施事業等収支差額		1,293,000	712,000	581,000
公益目的財産額が零となる予定の事業年度の末日		2028年12月31日		
公益目的支出計画の実施期間		17年間		

## 公益目的支出計画実施報告書の概要（2025年度）

主たる事務所の所在地 及び法人の名称		岩手県盛岡市流通センター北1-8-10		
		一般社団法人計量計測技術センター		
提出日		2026年2月17日		
対象期間		2025年1月1日～2025年12月31日		
公益目的財産額		21,200,805		
前事業年度末日の公益目的収支差額		17,701,673		
当該事業年度実施事業等収支差額		1,090,948		
当該事業年度の公益目的収支差額		18,792,621		
当該事業年度末日の公益目的財産残額		2,408,184		
実施事業の 状況等	継続事業 1	<p>特定計量器検定等の事業として、計量法に規定する検定、装置検査及び基準器検査の業務一部を岩手県知事から受託し岩手県内全域で実施した。</p> <p>特定計量器の定期検査の事業として、岩手県知事及び盛岡市長から特定計量器の定期検査業務を受託し、これを実施した。なお、これらの事業における実務を担当したのは当センターの計量士である。</p>		
	継続事業 2	<p>計量強調月間に併せて計量の重要性の認識を深めてもらうため、普及啓発用のけいりょう標語を募集し、入選作品によるステッカーを作成し県内事業所に配布した。</p> <p>計量記念日に計量の意義と重要性を県民に理解してもらうため、これらの趣旨を新聞に掲載し普及を図るとともに、計量記念日ポスター及び啓発用冊子を県内事業所に配布した。</p> <p>県内事業所の計測管理技術向上のため、計測管理セミナー及び中小企業向け測定基礎研修会を開催した。</p> <p>計量証明事業(質量)主任計量者講習会を開催した。</p> <p>計量計測関係者相互の連携強化をはかるとともに、消費生活者へ広く計量への意識を喚起し、産業経済の発展と文化の向上に寄与することを目的とした東北・北海道計量大会は、山形県で開催され、これに参加した。</p>		
		実施事業全体	継続事業 1	継続事業 2
公益目的支出の額		35,521,169	34,489,098	1,032,071
実施事業収入の額		34,430,221	33,992,259	437,962
実施事業等収支差額		1,090,948	496,839	594,109
公益目的財産額が零となる予定の事業年度の末日		2028年12月31日		
公益目的支出計画の実施期間		17年間		

# 公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書

2026年1月28日

一般社団法人計量計測技術センター

会長 池田 秀和 殿

一般社団法人計量計測技術センター

監事

鈴木 行弘 

監事

高橋 輝夫 

一般社団法人計量計測技術センターの2025年事業年度（2025年1月1日から2025年12月31日まで）における公益目的支出計画実施報告書に関する監査について、次のとおり報告します。

## 1. 監査の方法およびその内容

私たち監事は、理事および法人職員等との意思疎通をはかり、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事等からその職務の執行状況等について報告を受け、重要な決算書類等を閲覧し、法人事務所において公益目的支出計画の実施の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る公益目的支出計画実施報告書の妥当性を検討いたしました。

## 2. 監査の結果

公益目的支出計画実施報告書は、法令および定款に従い、法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく示しているものと認めます。